



## アジア・国際経営戦略学会 (AIBS)

### 「AIBS アジアエグゼクティブセミナー」

### 激動の中を進む経営者の理念 — 上海セミナー —

開催日: 2014年11月1日(土)  
時間: 16:00~20:00  
会場: 新錦江大酒店・菊花庁(セミナー)、荷  
花庁(懇親会)

上海市 长乐路 161 号 (地下鉄一号线 陝西南路駅 徒歩 5 分)

参加費: 9000 円(500 円)懇親会費含む

#### 【プログラム】

##### 16:00~16:10 ご挨拶

池島 政広氏 (AIBS 学会会長、アジアコンテンツビジネス研究会  
会長、経済産業省産業構造審議会新成長政策部会経営・知的資産  
小委員会委員長)

##### 16:10~16:50 特別講演

#### 「小さな町工場から大ビジョン実現」

【講演者】伊東千尋氏 (DNP 上海代表処、中国統括首席代表)  
(略歴) 1955年8月、神奈川県藤沢市生まれ。早稲田大学第一文学  
部卒。79年大日本印刷株式会社 (DNP) 入社。IT系事業開発部門、  
本社・経営企画部門などを経て、2003年から上海でDNPの中国事  
業立ち上げ業務に従事。DNPグループ中国現地法人の董事長を兼  
務。趣味はクラシック音楽鑑賞と自転車。

##### 17:00~17:50 特別講演

#### 「中国の風に乗って」

【講演者】武一彦氏 (上海里格 (リーグ) 法律事務所高級顧問・  
元上海卓多姿中信化粧品有限公司総経理)  
(略歴) 1978 年資生堂入社。国内各事業を経験後、2005 年ミュウプロ  
ダクツ代表取締役、2006 年上海卓多姿中信化粧品有限公司董事総  
経理。2012 年資生堂を特別退職、現在は亜細亜大学大学院非常勤  
講師、中小機構国際化支援アドバイザー、上海リーグ法律事務所顧  
問。

##### 17:50~18:00 閉会の辞

李奎氏 (AIBS 学会上海支部長、上海市発展と改革委員会価格管  
理処 処長)

##### 18:00~20:00 懇親会 (事前登録必要)

【参加申し込み方法】学会事務局宛電子メール (aibs@saibs.org)  
にて、セミナー・懇親会・工場見学の参加有無を、月日までに、  
お知らせください。(ご氏名、ご所属明記)  
なお、参加費 9,000 円を、以下のいずれかの口座 (日中平和観光協  
口座、担当: 今井 imai@nicchu.co.jp) に、10 月 17 日までに、お振り  
込みください。

三井住友銀行 丸ノ内支店 当座 6550815 ニッチュウヘイワカンコウ(カ)  
三菱東京UFJ銀行 東京営業部 当座 0079584 ニッチュウヘイワカン  
コウ(カ)

改革開放から 30 年余が過ぎ  
中国に進出している日系企業は  
2,300 社を超えている  
政治的な関係の冷え込みや  
景気の停滞があるものの  
今後 1・2 年の中国事業の動向を  
過半数の企業が「拡大」と読んでいる\*

一方で、人件費は高騰し  
スマートホン事業に典型的に見られるとおり  
中国企業の競争力の向上も目覚ましい  
在中国日系企業の行く末は  
拡大する市場とは裏腹に  
厳しさを増していると言える  
しかしこうした状況は今に始まった訳ではない

30 年余の間  
ひしめく外資系企業と台頭するアジア・中国企業との  
激しい競争に曝される

日系企業は多くを学習してきたとも言える  
特に、このような激しい競争環境において  
組織を兼ね進むべき道を指し示すことが求められる  
経営者は、最も多くを学習している  
今年度の上海セミナーでは

こうした激動の中を突き進む  
在中国日系企業を指導されてきたお二人の経営者同  
その理念を伺う

お一人目は、大日本印刷の中国事業の  
立ち上げから今日までを一貫して指揮されてきた  
中国統括首席代表の伊東千尋氏に  
中国事業の当初から今までの変遷をお聞きする  
もうお一方は、資生堂の中国事業の中核である  
上海卓多姿中信化粧品の総経理を務められ

現在、法律事務所の高級顧問という立場から  
中国事業を広く見極めておられる武一彦氏をお招きする  
激動の中国事業を進んでこられた  
お二人の経営者の理念をお聞きし  
今後の中国事業の指針を得るヒントとしたい  
会員、関係諸氏の積極的なご参加を期待しております

\*ジェトロ「在アジア・オセアニア日系企業活動実態調査—中国編—」(2013  
年度調査)

#### 【同時企画 1】工場見学会

セミナーに先立つ 10 月 31 日 (金) に、

上海愛奮貿易有限公司 (上海市奉賢区滬杭公路 755 号)

三得利啤酒 (昆山) 有限公司 (江蘇省昆山経済技術開発区  
前進中路 167 号)

極楽湯碧雲温泉館 (上海市浦东新区新金桥路 600 号)

の見学会を開催いたします。工場見学には、別途バス代  
(2000 円) と極楽湯様入湯料・会食費用 (6000 円、300  
円) が必要となります。(10 月 17 日までに、懇親会費と一  
緒にお振り込みください。)

#### 【同時企画 2】就職活動セミナー

セミナー開催前の 14:00 から、同会場で上海での就職活  
動をお考えの皆様を対象としたセミナーを、上海英佩克企  
業管理咨询有限公司 (IMPAC) 様のご協力により開催いた  
します。大金 (中国) 投資有限公司 (ダイキン工業) 様、  
上海一実貿易有限公司様、三菱麗陽 (上海) 管理有限公司  
(三菱レイヨン)、の各人事部門の方がセミナーを行います  
(他の参加企業につきましては、確定次第ご連絡いたしま  
す)。参加希望者は、以下の URL から就職意向調査書をダ  
ウンロードいただき、ご記入の上事務局(aibs@saibs.org)  
までメール添付で至急お送りください。  
<http://saibs.org/aibs/2014/impac.xls>

#### 【講演者著書】日中関係は本当に最悪なのか

今回ご講演の DNP 伊東様が共著者としてご執筆の著書を、  
著者特別価格 1600 円+消費税にてご提供いたします (定  
価 1900 円+消費税)。在中国日本国大使木寺氏も同書発表  
に立ち合われた、今話題の書籍の購入申し込みを会場にて  
受け付けます。※裏面参照!

## アジア・国際経営戦略学会

会長 池島政広

亜細亜大学学長

前亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科委員長

# 日中関係は本当に最悪なのか

## 政治対立下の経済発信力

2万社の日系企業が1000万人雇用を創出している中国市場。経済人ら32人がビジネス現場から日中関係打開のヒントを伝える！

### 日系企業2万社を代表する個々の現場に焦点

現在の日中関係は「最悪」と言われるが、経済の分野ではどうか？ 中国には2万社を超える日系企業が存在し、1000万人の雇用を創出している。この数字の裏にある個々の現場に焦点を当て、「本当に最悪なのか？」と問いかけたのが本書。

### 中国ビジネス最前線の経済人32人が執筆

執筆者は中国でビジネスにかかわる日中の経済人ら32人。中国の高速鉄道に使われるレール固定金具を生産する工場経営者からランドセルを売り込む2代目実業家、過酷な飲用水ビジネスに取り組む元日本語教師の女性社長、また納豆、カレー、日本酒、有機野菜などの「食」や、環境保護、高齢者介護で新たな商機を求める日系企業など。さらに在外公館や自治体など民間を支える官の視点も盛り込まれる。

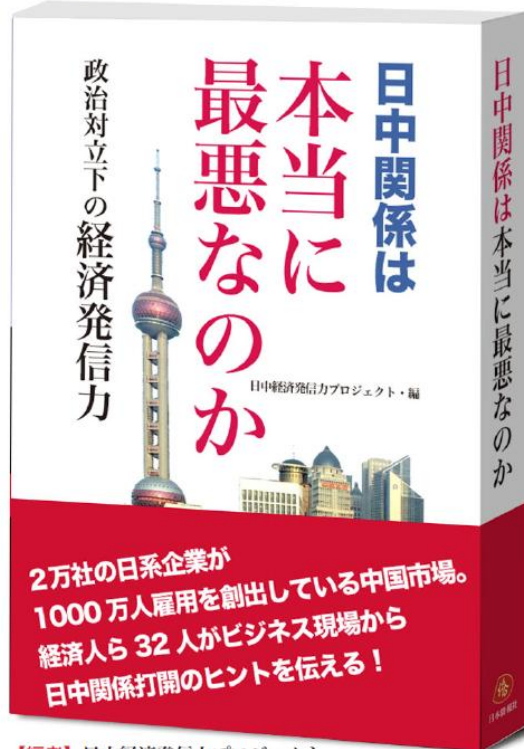
### 日中の実像に迫る生の声が満載

世界最大の人口を抱える一大消費地・中国は、世界の企業がせめぎ合う主戦場の一つ。そんな巨大市場を舞台として、本書に描かれるのは必死に生き残りの道を模索しつつ、現地にしっかりと根を張る多くの日系企業の姿。日中ビジネスの実像に迫る生の声だ。それは両国の相互理解を、経済をはじめとする民間を通じて深めるための格好の最新レポートとなっている。

### 目次

- はじめに 新たな日中関係を構築する時代に
- 第一章 技術力で挑む巨大市場
- 第二章 「反日」を乗り越える
- 第三章 問われる「和」ブランドの真価
- 第四章 チャンスを生む環境問題と高齢化社会
- 第五章 13億人がターゲットの「食」ビジネス
- 第六章 これからの日中経済見取り図
- おわりに 「嫌中」「反日」より「知中」「知日」が重要

日中経済発信力プロジェクト・編



### 【編者】日中経済発信力プロジェクト

本書の姉妹書『日中対立を超える「発信力」—中国報道最前線総局長・特派員たちの声』（段躍中編、2013年9月）をきっかけに、日中関係の中心である経済分野における現場の声を日本に伝えようと発足した。日本と中国という引越しのできない隣人同士が“ウイン・ウイン”の関係を築くために、またお互いが尊重し合い、理解し合いながら気持ちの通った関係を築くことを目的としている。

ご注文は、日本橋報社 e-shop (中国研究書店) をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 その他 取次コード：5752)

御注文	送信 FAX 03-5956-2809	日中関係は本当に最悪のか— 政治対立下の経済発信力 ISBN 978-4-86185-172-8 発行日：2014年9月30日 四六判 320頁 並製 予価：本体1900円+税	番線印
	御住所 〒		
	御氏名	日本橋報社 e-shop <a href="http://duan.jp">http://duan.jp</a>	
	御電話		

発行元：日本橋報社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-17-15 Tel: 03-5956-2808 Fax: 03-5956-2809 info@duan.jp <http://jp.duan.jp>  
●三菱東京UFJ銀行 池袋西口支店 (普) 5271402 カ) ニホンキョウホウ ●郵便振替口座番号 00140-3-583886 ※振込手数料はお客様負担でお願いします